

福島第一原子力発電所 3号機原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果 < 1/2 >

参考値

(データ集約 : 7/25)

採取場所	3号機原子炉建屋上部 (シールドプラグ北側(下方向))		3号機原子炉建屋上部 (シールドプラグ北側(横方向))		3号機原子炉建屋上部 (シールドプラグ中央部(下方向))		炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成25年7月25日 9時00分～9時30分		平成25年7月25日 9時00分～9時30分		平成25年7月25日 10時00分～10時30分		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	1.0E-05	0.01	5.6E-05	0.03	ND	-	2E-03
Cs-137 (約30年)	4.8E-05	0.02	1.0E-04	0.03	1.1E-05	0.00	3E-03

試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

. E- とは、. × 10⁻ と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を 1 と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約7E-6Bq/cm³、Cs-134が約1E-5Bq/cm³、Cs-137が約2E-5Bq/cm³。

粒子状のI-131が約4E-6Bq/cm³、Cs-134が約9E-6Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一原子力発電所 3号機原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果 < 2/2 >

参考値

(データ集約 : 7/25)

採取場所	3号機原子炉建屋上部 (シールドプラグ中央部(横方向))		3号機原子炉建屋上部 (機器貯蔵プール西側(下方向))		3号機原子炉建屋上部 (機器貯蔵プール西側(横方向))		炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空気中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成25年7月25日 10時00分 ~ 10時30分		平成25年7月25日 11時00分 ~ 11時30分		平成25年7月25日 11時00分 ~ 11時30分		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	ND	-	2E-03
Cs-137 (約30年)	2.2E-05	0.01	1.4E-05	0.00	ND	-	3E-03

試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

. E- とは、. × 10⁻ と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を 1 と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約7E-6Bq/cm³、Cs-134が約1E-5Bq/cm³、Cs-137が約2E-5Bq/cm³。

粒子状のI-131が約4E-6Bq/cm³、Cs-134が約9E-6Bq/cm³、Cs-137が約1E-5Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。